

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	それ以外	・通販などの物品購入代金の代行収納が件数、金額ともに急激に伸びているが、今月は特に顕著である。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型のRV車は好調で、加えて主力車種の後継車も大変な人気を得ている。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・全体の受注件数は前年同月比99.6%で、内訳はホームファッションが同98.9%、家具が105.2%となった。全体では前年並みであるが、両部門の流れが変わり、家具が伸びた。
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・来客数の動きは良くないが、1人当たり購買単価が前年比で1割上昇している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・台風の影響で屋根の修理が目立つが、年内の完成が難しく、新築工事の足を引っ張っている。一過性の工事であるが、例年より職人が不足し、非常に忙しい状況である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月は分譲物件の販売数量が前年同月比で約2割増となっている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・近隣でオープンした美術館のにぎわいも一段落し、平常営業に戻っている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・気温が高いため、ファッション関係の店ではアウターが動かず、売上は良くない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・野菜の高値が続いており、客の買物動向が鈍っている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・気温が高いため、ホームセンター等では暖房用品の売行きが不振となり、また衣料品では防寒用品の動きがほとんどないため、売上が落ちている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・台風等の影響で、野菜は高値で推移している。しかし、客は野菜の高い分を肉や魚などの買い控えで調整しているため、客単価は変わらない。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・白物家電の動きが悪い。相変わらずパソコン及び関連商品はソフトも含めて前年割れが続いている。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・依然として販売は低価格車や新型車に集中しており、満遍なく売れるという状況ではない。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・業界全体の販売量は前年を下回っている。当社では前年比で上回っているものの、新型車に限られており、全体的には良くない。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・中古車の受注件数が減少している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	単価の動き	・過当競争の石油販売業界に対し、元売りは容赦なくコストを転嫁している。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・行楽シーズンにふさわしい暖かい天候が続き、土、日、祝日を中心に例年並みの集客ができたが、大幅増とまではいかない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会部門は前年を上回る見込みであるが、レストランウェディングの実施件数が前年を下回っていることに加え、レストランの通常営業の来客数が伸び悩んでいる。また、宿泊部門も客室販売単価の低下により減収となり、全体でも前年を下回る見通しである。3か月前との比較でもレストランの通常営業の来客数が減少したため、減収となっている。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・相変わらず、業況は低迷したまま変わらない。
パチンコ店（店員）		販売量の動き	・今月は例年と同様に来客数が減少している。	
やや悪く なっている	一般小売店[鮮魚]（店長）	単価の動き	・買上点数は変わらないが、一品単価の低下が1年前から続き、上昇する気配がない。競合店も価格を下げてきており、今後ますます価格競争が激しくなる。	
	一般小売店[鮮魚]（従業員）	販売量の動き	・複数の飲食店からの受注量が大幅に減少した。更に価格面でも厳しい要求がきている。いずれの取引先も来客数が減少したためとみられる。	

	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・11月の百貨店の柱はコートやブーツなどの冬のファッション衣料である。しかし、新潟県中越地震の影響から生活防衛意識が働き、日常性の高い物は優先的に買うが、ファッション関連は我慢するという沈滞ムードになっている。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量や単価の落ち込みが先月後半から続いている。これは豪雨被害や世の中の不安材料が影響しているためと思われる。また、ボーナスや年末を前にした買い控えも影響している。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・新潟県中越地震の直後から、主婦層だけでなく男性客からも買い渋りの態度が目につく。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数減少の影響が一番大きい。単価も酒の自由化の影響を受けて低下傾向にある。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年に比べて暖かい日が続く、コート、ブルゾンなど単価の高い商品の販売量が増えず、売上に影響が出ている。	
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が前年に比較して約1割減少している。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・良くなかった昨年と同様に、来客数が少ない。 ・来年まで仕事が詰まっている会社でも、円高・ドル安の影響を受けたり、鉄鋼原材料が入らないため仕事が遅れているなど、客に笑顔が見られない。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ホテル、JR、航空機の分野で、客が代理店を通さずに直接申し込むケースが増えており、売上は前年同月を下回っている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・前年同月に比べて土、日曜日が1日少ないこともあるが、来客数は減少気味である。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量は前年に比べて伸びていない。リフォームも災害が多かった割には少なく、客は住宅にあまり資金をつぎ込めない状況である。	
悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月の買上客数は前年実績の79.9%である。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は年末の買物や忘年会などを前にして、客が極力出費を抑えている傾向がうかがえる。夜の繁華街も人出が少ない。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・台風や新潟県中越地震の影響に加え、団体客の動きが鈍く、今月の来場者数は前年同月比で15%の大幅減となった。また、客単価でも同1割程度低下している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・価格が若干高い新商品の受注量が右肩上がりになっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・11月初めに東京で開催された見本市では5～10%の来場者から具体的な商談が持ち込まれている。
		司法書士	取引先の様子	・多重債務の相談件数が減少しており、また相談内容からも負債総額等の減少がみられる。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原糸の値上がりによるコスト高を売値に織り込むのは非常に難しい状況である。
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・配置薬市場の縮小が加速化しているため、これを健康食品などの販売でカバーしようとしている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・電子部品業界は在庫調整に入っており、夏場から徐々に受注が減少している。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・依然として発注量が少なく、ダンピングと思われる低価格の入札が相変わらず続いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・16年9月の中間期決算では、取引先の業績にバラツキはあるものの、増収増益の企業がみられる。中でも素材関連の製造業に多い。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・原材料高に加えて為替の円高・ドル安により、受注環境は競争相手においても厳しくなっている。
精密機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・年末に向けて眼鏡の生産量が落ちている。加えて、最近では価格も厳しい。	
輸送業（配車担当）		受注量や販売量の動き	・今月の物量は前年同月比で約10%減少している。	
悪くなっている	-	-	-	

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・製造関連の常用求人が減少している一方で、派遣、 請負の求人が増加しており、安定した伸びではない。 しかし、有効求人倍率は4か月連続で1倍台で推移 し、上昇傾向にある。
		民間職業紹介機 関（経営者）	周辺企業の様子	・工作機械や自動車関連の企業では操業度、生産量が 増加している。
	変わらない	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・幅広い職種にわたり求人はあるものの、スタッフの 募集活動もあまり効果がなく、依然として確保が難し い。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・求人数は前年より増加している。業種としては情 報、サービス系の求人が多い。
やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	それ以外	・派遣、業務請負業やコールセンターなどの業種では 正社員や契約社員の求人募集に積極的であり、またア ルバイト、パートを募集するサービス業の企業も少し ずつ増加している。しかし、これ以外の業種の求人募 集は少ない。	
悪く	-	-	-	